

全土連会長賞

部 門	受益農家集団の部
国営地区名	<small>やまぐちほくぶ</small> 山口北部
表彰団体名	農事組合法人こぶし

1 表彰団体の概要

- (1) 名 称 農事組合法人こぶし
(2) 設 立 平成12年
(3) 所 在 地 山口県萩市
(4) 集 団 の 性 質 機械・施設の共同利用、作業受託、協業経営
(5) 構 成 農 家

専 業	I 種兼業	II 種兼業	計
8 戸	－ 戸	4 戸	1 2 戸

- (6) 経営耕地面積 25ha
(7) 主 要 作 物 水稲、飼料用稲、飼料作物

2 表彰理由

ほ場整備を契機に法人化し、県内初となる飼料用稲の団地化栽培や県認証農作物こだわり米栽培の取組により農業経営の改善を実現している。
また、耕畜連携にも取組み、飼料用稲はWCSに加工し地域内の畜産農家に販売する一方、家畜糞尿を無償で引き取り、自らの堆肥センターで良質な堆肥を生産し、法人管理の農地に投入するなど地域資源の有効活用を実行している。

国営農地再編整備事業「山口北部地区」は、山口県北東部に位置し、日本海沿岸から中山間部まで標高1m～530mの変化に富んだ、急峻で平野の少ない中山間地帯である。

本地区の農地は、各市町を流れる河川周辺部に分布しており、大半が未整備のまま放置されていたため、作業効率の向上が望めず、耕作放棄地の拡大が懸念される状況であった。

このため、国営事業の実施より既耕地を再編整備し農道も各ほ場に設置されたことから、効率的な農業生産が可能となる基盤が形成された。

本法人は、前身の任意団体より平成12年(国営事業完了年)に設立され、現在構成農家は12戸となっている。法人設立前は水稲単作経営が中心であったものを、エコ山口認証作物である「こだわり米」への取り組みと、新規作物として飼料用稲を導入し耕畜連携による農業経営改善を実現した。

飼料用稲は、WCSに加工し地域内の大規模酪農家へ販売する一方、近隣畜産農家から家畜糞尿を無償で引き取り、独自に整備した堆肥センターで良質な堆肥を生産し、地域資源の有効活用を図りながら、消費者の安全・安心志向に応じた減農薬・減化学肥料による「こだわり米」の生産を実践している。

また、水稲及び飼料用稲においては、更なる効率化を図るため「代かき同時湛水直播栽培」に取り組み、労働時間の縮減にも取り組んでいる。

農業機械は、多くをリースで調達し、特に飼料用稲の収穫作業については、飼料用稲収穫専用機を所有している法人に委託することで、無用な新規投入を行わずコスト削減に取り組んでいる。

本法人は、県内で初めて飼料用稲の団地化栽培に取り組んだ集団で他地区のモデルとなる先進事例として注目されており、萩市等が主催する就農現地見学バスツアーや農業体験塾等の催しに協力し参加者を受け入れ地域の先導的役割を果たしている。



飼料用稲の収穫作業

飼料用稲は、WCSに加工し地域内の大規模酪農家へ販売している。収穫作業については、専用収穫機を所有している法人に委託することで、新規投入を行わずコスト削減に取り組んでいる。



水稻労働時間の削減

水稻及び飼料用稲においては、更なる効率化を図るため「代かき同時湛水直播栽培」に取り組み、労働時間の縮減にも取り組んでいる。

良質堆肥の生産

近隣畜産農家から家畜糞尿を無償で引き取り、独自に整備した堆肥センターで良質な堆肥を生産し、地域資源の有効活用を図りながら、「こだわり米」の生産を実践している。

